

第4回 神戸便教会 報告

2015年10月17日（土）、第4回神戸便教会を、西代中学校をお借りして9名で実施いたしました。さわやかな秋空のもと、一番古い校舎の男子トイレでの活動となりました。

簡単な自己紹介のあと、早速トイレ掃除にかかりました。今回掃除させていただいたトイレは小便器5つ、大便器1つのトイレですが、1年前に神戸便教会の第1回で掃除したトイレでした。1年間、生徒による掃除だけだったので、汚れが厳しい状態になっているのではないかと考えていましたが、予想していたよりは汚れが少なかったように思います。それでも、尿濃しを開けると尿石がついていたり、排水溝の中にもたくさんのゴミがあったりする状態でした。

掃除開始後、すぐに蛍光灯とカバーを外して埃をふき取りました。換気扇も外して水洗いしました。便器については、コーティングされていたこともあり、O先生から「サンドメッシュは使えないトイレですね」と確認されました。先日、藤井寺支援学校での研修会で、田中会長から「相手を傷つけずに掃除をすることが大切だ」という話がありました。みなさんそのことを意識しながら、焦らずに柔らかい道具から丁寧に取り組まれていました。リーダーをお願いしたN先生は、鏡と洗面台を掃除していただきました。また、今回は経験者ばかりでの活動だったので、それぞれの参加者の方々が、自ら率先して掃除をされていました。尿濃しはK先生が担当されていましたが、本当に小さな汚れまで残さないように、丁寧に取り組まれていました。今回は時間的にも余裕があったので、それぞれの方が、時間をかけ便器に向き合っていた姿が印象的な会になりました。

さて、掃除終了後の反省会では、たくさんの感想をいただきました。

Sさんは現在違うお仕事をされていますが、教師を目指しておられる方です。教室の雰囲気を感じながら、早く教室で生徒の前に立ちたいとおっしゃっていました。まっさらな状態の生徒でも、次第に汚れがつかます。その汚れを自分を取り除くことができれば良いと言われていました。

N先生からは、「掃除には大切なことが全てつまっている」という感想をいただきました。日常に生かすためには、掃除での学びのように、多くのことに気づき、広げていかなければならないと感じました、というお話でした。今後は街頭清掃などにも取り組んでみたいとのことでした。

Y先生からは、とらわれない、こだわらない生活をしたいとの感想でした。掃除も生徒に対しても「このやり方でないとだめだ」という思い込みを外して、いろいろな方法を探りたいということでした。

リーダーのN先生は掃除に役目上、掃除に没頭できなかったが、全体の作業や流れを見て時間配分することに集中したというお話でした。また、普段の生活でもリーダーをすることが多いが、今回の掃除を通して、多くの人に助けられていると実感したそうです。

Yさんは時間内に目標の掃除まで達成できなかったそうです。しかし、これを人生に置き換えて考えると、達成できないこともたくさんあって、その中で自分が没頭できるものを大切にしたいとのことでした。

M先生も相手を傷つけない掃除をしようと心がけられていました。普段の生活を振り返ると、自分の行動は他人に対して優しく、包み込めているのだろうか。気を抜いてしまうとすぐに自分がダメになってしまうので、掃除を通した自己変革を促し、職場でもリーダーになっていかなければならないと感じられたそうです。

K先生は便教会など自分の職場以外の空気に触れることが大切だと思う。職場にいと職場の文化に流されてしまう自分もいる。合唱コンクールの練習があったが、歌わないと怒りを感じることもあるが、少し待って、生徒の話聞き、自分の思いを載せて導くことができればいいのではないか。自分からの目線だけでなく、相手の目線にたつことも学びです、とおっしゃっていました。

最後にO先生からは、教室の窓がとてもきれいですね、とおっしゃっていただきました。透きとおるように磨かれた窓を見ても、中学生のほとんどは何も感じないだろうと思いません。けれども、1割の生徒がこの窓から見る景色を見て、心が育てばいいのではないかとおっしゃっていました。また、この窓からは「氣」が出ています。その「氣」は広がっていくと思います。焦らずに一つ一つきれいにしていくことが大切ですね、とおっしゃっていました。

もう一つ、読書会での話をしていただきました。「一人の百歩より、百人の一步」という相談役の言葉があるが、「一人の百歩」は「百人の一步」より劣っているというわけではない。相談役は百歩どころではないくらい先を歩かれているが、その生き方を我々が、それぞれの場所でリーダーとして一歩ずつ進め、後からくる人たちに引き継がなければならないというのがこの言葉の意味です。ただ、「一人の一步」を踏み出すことが大切で、便教会や掃除の会で取り組んだことや気づいたことを実践しながら、一人で百歩進みつつ、同時進行で、他の人もリーダーができるように努力していきましょう、と話されていました。

私も掃除にめぐりあったおかげで、人生の危機を救っていただきました。そしてご縁がつつながり、大きな流れが変わったと感じています。しかし、いいと思ってもなかなか広がらないことに少し焦りを感じることもあります。でも今は、その焦りもまた、自分を高めるために気づかされたことなのではないかと思えます。焦る自分をもう一度振り返り、足下から始めるために掃除があるのだと感じました。